



「星の砂」は何からできているの

死んだ原生動物の骨

星の砂(星砂)は、沖縄県の西表島とか竹富島の海岸で見られ、星の形をしているので、星の砂(星砂)とよばれています。

沖縄県の白い砂浜は、そのほとんどがサンゴや貝などの生物の遺骸(死骸)でできているのです。星砂は、原生動物の中の有孔虫の骨が、砂浜にうち上げられたものです。この骨が星の形に似ているため、星砂とよばれるようになったのです。

また、星砂は、幸福をもたらすといわれ、伝説では、海の大蛇に食べられた星の子どもの骨が流れ着いたものだ、ともいわれています。

星砂の集め方

星砂は、竹富島や西表島の海岸で採れますが、西表島の星砂海岸のほうが、星砂を採るにはいい場所です。西表島の星砂海岸は、海岸全体が赤みを帯びているくらい、星砂が多いところ

所です。星砂の大きさは、1ミリメートルぐらいしかないので、目をこらして、しっかり見ないと見つけれません。

星砂は、少し赤みを帯びています。たいてい、波打ち際の、砂の表面にあります。赤みを帯びた場所に、そっと、てのひらをついてみましょう。すると、てのひらに、星砂がついてくるはず

です。美しい自然を守るためにも、星砂を採るときは、ほんの少しだけにしておきましょう。

(監修・青木 国夫)

